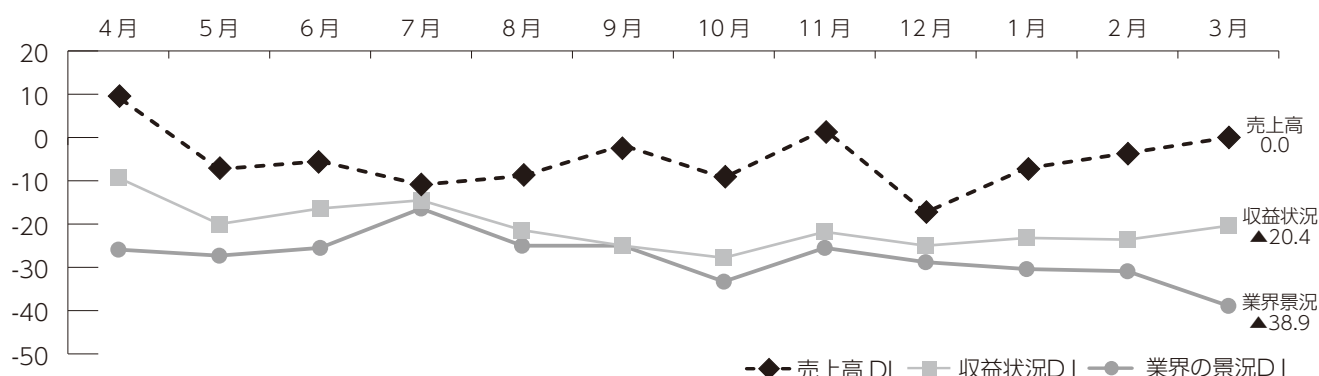


厳しい業況が続く中、米国の関税措置を懸念

概況

依然として、多くの業種が人手不足や原材料等の価格高騰による影響を受けており、収益の確保に苦戦している状況が窺える。また、自動車関連を中心に、米国の関税措置の影響を懸念する声も聞こえてきており、今後の動向を不安視している。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
製造業	全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	食料品	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☀	☁	☀	☁	☁	☁	—	☀	☁
	小売業	☁	☀	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	☁	—	☀	☁
	サービス業	☀	—	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☀	—	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☀	—	☀	☀	☀	☁	—	☁	☁

減少悪化 ← ☁ ☁ ☁ ☀ ☀ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI 値を基に判断したものです。
DI 値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	【パン】 原材料価格が高騰している中、価格転嫁もどこまで消費者が許容してくれるか不安感を抱いている。人手不足が慢性化している。米国の関税措置の影響を懸念。 【菓子】 客数は減ったものの、注文数が増えたことから繁忙だった。
織 維 製 品	【織物（桐生）】 合成繊維のゆかた関連商品は、今夏の生産に向けた受注が思うようになく、厳しい状況。七五三等のレンタル用製品は今年の受注を待っているタイミング。 【刺繍】 サンプル分、量産分ともに動きは活発だが、昨年よりは弱い印象。 【外衣・シャツ】 諸物価高騰の中、衣料品も買い控えの影響からか受注量が少なかった。
窯業・土石	【コンクリートブロック】 組合員の3月の景況感は前年並みで推移。施工職人不足により工事の遅れが続き、苦戦。4月以降の価格転嫁に期待を寄せている。 【生コンクリート】 東毛地区ははじめ渋川地区、吾妻地区等で出荷量が増加したが、出荷量の多くを占める中央地区が大幅に減少したため、全体で減少となった。
機械・金属	【めっき】 米国の関税措置を受け、半導体装置関連、機械関連は様子見の姿勢になっている。 【機械金属】 全体的に受注は落ち込んでいる。今後、特に自動車関係において、米国の関税措置による更なる業況の悪化を懸念している。 【半導体関連】 売上高は対前年比同等。米中関係の影響が大きく出る業界のため、設備投資に関して様子見している組合員が多い印象。 【自動車関連】 一部メーカーに関して、新車の新規生産の関係から受注増や受注減の企業両方がみられる。米国の関税措置は、関連各企業含め、動向を不安視している状態。
そ の 他	【家具】 一般消費者向けの市場環境は引き続き厳しい状況。一方、インバウンド対応やオフィス環境改善への対応は堅調で、業界内でも二極化している。 【紙製品】 紙・板紙関係類の出荷額、使用量は前年を割っている状況。長引く人手不足や燃料・電気料金の値上げ、配送運賃等の高騰がますます深刻。最賃の上昇も懸念。 【印刷】 米国の関税措置が資材の価格に及ぼす影響を懸念している。

《非製造業》

卸 売 業	【紙卸売】 年度末需要への対応に追われた。価格転嫁により、前年同月比で売上、収益ともに微増の状況。 【食品加工】 昨年の猛暑、冬場の寒さや少ない降水量等の天候が野菜の生育に大きな影響を及ぼした。その結果、流通する野菜が激減・高騰し、厳しい状況が続いている。
小 売 業	【中古自動車オークション】 出品台数は需要期だったこともあり好調。販売推進策として、3・4月にかけて、プレゼント企画を盛り込んだキャンペーンを実施。 【生花】 花の需要が高まる3月だが、中国の経済が悪化しているためか、各国の花が日本に流れ、輸入増から相場は落ち着き気味。
商 店 街	【前橋市】 寒暖差が大きく人出に影響。明るい話題として、飲食店が新規オープンした。 【高崎市】 卒業シーズンだったこともあり駅周辺は飲食店を中心に賑わいがあった。一方で、物販の動きは鈍く、厳しい状況。 【藤岡市】 寒暖差が大きく、低温傾向だったこともあり、季節商品の動きが鈍かった。
サービス業	【温泉旅館】 卒業旅行や春休みによる若年層の利用、インバウンドの増加等もあり、昨年と同程度の利用者数となった。物価高騰の影響は大きく、利益の確保や人手不足が課題。 【美容】 入学式や新年度の準備をする人によって、業界としても活気ある時期であり、例年通りの賑わいとなった。一方で、人件費のベースアップが課題となっている。 【不動産】 建売住宅は、省エネ義務化や資材高騰で今後も価格上昇が見込まれるため、金利や景気の動向と共に注視している状況。
建 設 業	【建設】 地方の中小企業では、初任給アップやベースアップといった賃上げが難しく、若手人材の確保に苦慮している。県の令和7年度公共事業予算は前年を上回るものの、資材や人件費の高騰により、実質投資額は減少している状態。 【とび工事】 降雪地域では雪の影響で売上減も、全体では値上げ効果で売上増。また、人手不足は深刻で、4月からの新入社員がいない組合員がほとんど。 【電気工事】 従業員の高齢化や退職で人員減少が進む中、働き方改革の労働時間制限による業務配分に苦慮。受注は緩やかに増えているが資材高騰で収益状況は改善しない。
運 輸 業	【一般貨物運送】 3月は決算期ながら荷動きに活気は見られず、忙しい印象はなかった。多くの中小運送事業者では、継続的な運賃引上げや標準的な運賃までの引上げに難航している。物流コスト上昇も重なり、今後の経営は一層厳しさを増す見込み。 【貨物軽自動車運送】 引っ越し業務について、高齢化や人手不足から依頼を断るケースもみられる。

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。